

27 クロージング

～みんなで作る あしたのピース～

○開催目的

ボランタリーフォーラム TOKYO2016 のクロージングとして、全体テーマである「あしたのピース」をみんなで作ります。「平和な暮らし」は、地球で暮らすすべての人たちの願いです。その平和な暮らしは、私たち一人ひとりが主体となって、地域社会をつくっていくことから始まります。私たち自身がひとつのピースとなって、他の人たちのピースと重なりあい、どんな社会を描いていくかを考えます。

分科会での熱い思いをもって、直接かけつけてください！分科会 NO.20「みんなで作ろう！『明日のピース』～障害のある方々とアート作品をつくってみよう！～」で作成された作品の展示も行います！

○開催日時

2月14日（日）16：10～17：00

○参加者数・出演者・団体

参加者数：66名（参加者61名、出演者2名、スタッフ3名）

出演者・団体：山崎 美貴子さん（東京ボランティア・市民活動センター 所長）
上田 英司さん（NPO 法人 NICE）

○プログラム内容・成果と課題

クロージングでは、フォーラムの中で学んできたことや、「あしたのピース」に対して自分たちがどんなことができるかを、各グループで共有しました。



●参加者の方のコメント

- ・企業で長く勤めてきたが、企業のなかで弱みを見せることは、絶対してはいけないことでした。しかし、ボランタリーフォーラムに参加をして、弱さがあることや弱さを見せることは、決してネガティブなことではなく、多くの人たちがその弱さを支えあうことの大切さを実感しました。
- ・まだまだ市民が主体となって取り組むべきことはたくさんあると感じました。しかし、スーパーマンである必要はなく、さまざまな人たちの持ち味を活かして、それ

それが活躍できる社会を目指していくことの大切さがわかりました。

- ・公募企画に応募をして、普段から考えていることを、フォーラムという場で実現できたことは、非常に貴重な機会となりました。その日常的な課題を、実際にアクションとして行動に移すことができたフォーラムの場に感謝をしています。

●山崎美貴子さんのコメント

- ・「平和な暮らし」とは、どのような暮らしなのか。ボランティアフォーラムが開催された今日、長くボランティアセンターの運営委員長を務めてくださっていた仲村優一先生が逝去され、その偲ぶ会が開催されました。仲村先生は、戦後日本の社会福祉教育や、ソーシャルワーク研究・実践に多大なリーダーシップを発揮され、「平和」な社会の実現を強く願っていらっしゃいました。今回のフォーラムのテーマが「あしたのピース」ということで、仲村先生の意思を引き継いでフォーラムが実施されていることを非常にうれしく思います。
- ・一人一人が「平和な暮らし」を実現するために、地域社会のコミュニティがもっともっと多様性を認めるダイバーシティの実現や、望まず孤立してしまっている人たち、ひとりぼっちになってしまっている人たちをなくすための活動が求められています。

●まとめ

- ・私たち一人ひとりが、社会の担い手であることを自覚し、さまざまな場でその実現ができることを広く知って、行動をしていける環境をつくっていかねばいけないと感じました。多様な活動を認め合い、高めあえる場に、フォーラムが継続してなっていくことを期待したいです。

○担当者・記録

《担当》	上田 英司（NPO 法人 NICE）
	鹿住 貴之さん（認定 NPO 法人 JUON（樹恩）NETWORK）
	神元 幸津江さん（いたばし総合ボランティアセンター）
《運営サポート》	圓藤 理江（東京ボランティア・市民活動センター）
	森田 美穂（東京ボランティア・市民活動センター）
	川崎 淳哉（運営ボランティア）
《記録》	上田 英司（NPO 法人 NICE）

